

活動報告

団 体 名	ぎふ NPO センター
活 動 名	平成 30 年 7 月豪雨の関市被災地のための災害支援事業
活動期間	2018/07/09～2019/02/24
活動の成果	岐阜県内においては、大規模な災害ボランティアセンターが立ち上がるような災害が過去にはあまりなかったため、立ち上げ当初は大混乱となっていました。また、災害ボランティアセンターが立ち上がってからも、奥にある集落はまったく手つかずの状況で、住民の方々も途方に暮れている状態でした。そこへ、ぎふ NPO センターのコーディネートにより、170 名の学生ボランティアが入り、一気に床下処理などを済ませたため、被災住民の方だけでなく関市社会福祉協議会からも大変感謝をされました。また、様々な NPO 団体にボランティア活動への協力の声掛けをさせていただいたことで、関市のために何かしたいけれど、何をどうやれば良いのかわからなかったという団体から協力の申し出がいただけたり、そうした団体と関市社協が直接つながり、その後も地域の行事へ関わるようになるなど、災害時だけでないつながりが生まれました。また、今回被災地支援に関わることで、平時からのつながりの重要性をヒシヒシと感じました。そのため、ぎふ NPO センターは、協働の第一歩として、県と県社協と共催で「地域づくりから災害支援を考えるシンポジウム～その時、関でなにが起こった！～」を開催し、関市において当時どんな事が起こっていたのか、関市社会福祉協議会の職員や、関市に支援で入った団体などに赤裸々に語っていただきました。災害支援を「ボランティア」を軸に考えるのではなく「地域づくり」から考える必要があると感じたため、今年度は「災害にも強い地域づくり」に向けた事業を展開していくこととなりました。
寄付者へのメッセージ	我々 NPO は、何を行うにも事業にお金がついているため、災害など突発的な出来事に対しての予算は全くありません。本来ならば、そうした時のために積立金などを準備しておくのが良いのですが、そうした余裕が無いというのが、事実です。しかし、お金が無いからと言って活動をやめるという事は出来ません。お金が無くても、目の前に課題があれば、その解決のために動くのが NPO です。そのため、このように申請できる助成金やご寄付があるということは、我々にとって大変ありがたいことです。何をするにも、やはり活動費という部分は欠かせず、そうした資金があることで我々も思う存分活動することができます。また、ボラサポは、地域の皆様や企業の皆様からの貴重なご寄付です。そのため、活動費として使わせていただく上では、常に「地域に還元する」「次につながる活動にする」という事を意識しています。皆様からのありがたいご寄付を、地域に根ざした活動へと変えるため、今後もぎふ NPO センターとして精進していきたいと思っております。

(活動のようす)

